

# 一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 17番 野村 諒子

質問事項 1	働く人の利用促進を図る公民館運営について
具体的内容	平成の初期までは地域社会の担い手として婦人会や青年団活動などが活発に行われていましたが、女性の社会進出が進み働く女性が増えてきたことにより、以前のような地域社会の担い手となる団体が少なくなってきたと感じています。 平成10年に施行された特定非営利活動促進法により、その後、県内でも多くのNPO法人が設立されましたが、会員の高齢化、後継者不足により解散する団体が増えてきました。 設立した団体は、社会貢献を目的とし社会課題に自ら取り組むことで、生きがい、やりがいの場を生み出すきっかけにもなっていました。今後は、若い世代を巻き込むことができれば、活動が活発になり、後継者を育てることにもつながっていくものと思います。 これからの地域社会の担い手となる若い人や、新たな団体を増やしていくためには、働いていても参加しやすい環境を整える必要があるのではないのでしょうか。 しかし、三島市内の公民館は休館日が多く、特に日曜日が休館日となっている所が多いため、土曜日の予約が取りにくい状況もあるように思います。働いている市民が増えて、利用できるのは土日と夜しかないとすれば、日曜日の開館を検討することも必要ではないかと思えます。
	1 市内の活動団体の状況をどのように捉えているか伺う。(高齢化、団体減少、担い手不足等) 2 公民館は利用率だけでなく、若い人の利用促進を図るべきと考えるが、取組みはあるか。 3 他市との比較で、日曜は開館している市町が多いが、見解を伺う。 4 日曜を開館する場合、シルバー人材センターの活用が良いと考えるが見解はどうか。
質問事項 2	新庁舎建設費の妥当性と建設費を抑える取組みについて
具体的内容	8月1日に開かれた議員向け説明会で示された新庁舎建設費は、いずれの案も以前考えられていた金額予想を大きく上回る建設予算が示され、事業を進めるには、他の事業の推進に影響が出るのではないかと危惧されます。 現庁舎は建設してから63年経過しており、これまでも多額の費用をかけて修繕し改善を図ってきましたが、今後8年を目途に新庁舎を建設することについては、多くの市民からも賛同を得ていると理解しています。しかし、三島市の財政規模を考えると、今の職員数や全国の一般的な建設面積から割り出された広さによる建設費を予算化するのではなく、コストを抑えるための工夫や努力をした上での予算化でなければ、市民には納得していただけないように思います。 そこで、説明会で示された建設費の妥当性と、建設費を抑えるための取組みとしてどのようなことが可能かについて伺います。
	1 説明会で示された庁舎の坪単価はいくらか。他市との比較において妥当性は。 2 三島市の財政状況で、建築費の上限をいくらと考えているか。返済計画はどうか。 3 新庁舎の建築物としてのレベルをどの程度に考えているのか。(装飾、機能、仕様等) 4 全体の建設費を抑える為に、社会福祉協議会等の他機能は含めない方向で検討はできないか。 5 駐車台数の再検討ができないか。(社会福祉協議会等を含めない場合も検討) 6 建設費を抑えるための取組みとして、今後、どのようなことが考えられるのか伺う。